

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- ① 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 エネルギーの地産地消の推進について

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

小平市は2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ、エコシティを目指して今年2月にゼロカーボンシティ宣言を行いました。2020年度に策定した小平市第三次環境基本計画に包含される小平市地域エネルギービジョンの見直しも必要になってくることやゼロカーボンシティ実現のための取り組み内容を検討するために、市では小平市域の脱炭素化に向けた調査を行い、今年9月に報告書が提出されました。

生活者ネットワークは原発に依存しない社会を目指し、地球温暖化防止に寄与する再生可能エネルギーの推進、エネルギーの地産地消を訴えてきました。今回の調査から見えてきた小平市の現状と課題を明らかにし、安心して快適に暮らすことができる小平市であるために以下、質問します。

- 1、報告書を通じて把握した小平市の現状、特徴、課題についてお示ください。
- 2、小平市の再エネによる電力の自給率が1.9%であること、熱の自給率が0.0%であることの評価と、課題についてお示ください。
- 3、小平市ではエネルギー代金として年間273億円が市域外に流出しているとの調査報告がありました。エネルギーの地産地消がもたらす経済性を含めた有効性についてお示ください。
- 4、市内の再エネ導入ポテンシャルをフル活用した場合、2030年から2050年に必要となる対策量を賄えるという調査報告がありました。実現のためには国や都、関係団体、事業者、市民と連携する必要があると思いますが、ご見解は。
- 5、ゼロカーボンシティを実現するためには市内の再エネ導入ポテンシャルを最大限に生かし、地産地消することが欠かせません。新ごみ焼却施設で発電した電力の利用や市民電力小売り事業の可能性についてお示ください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和4年11月17日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

25	24	23	22

-(/)